



検見川神社

第297号



1月1日発行

SSKR

千葉市身障者福祉会
発行 広報委員会
責任者 飛嶋 信行

明けましておめでとう
ございます。
千葉市身体障害者福祉
会の皆様におかれまして
は、輝かしい新年を健やか
にお迎えのこととお慶び
申し上げます。
また、日頃より、本市の
障害者福祉の充実・向上の
ため、各分野において精力
的な活動を展開されてお
りますこと、心から敬意と
感謝の意を表します。
昨年は、千葉市身体障害
者スポーツ大会へのご参



加や開催のご支援、全国障
害者スポーツ大会「SAG
A2024」への代表選手
団の派遣のほか、小学校で
の福祉講話や障害者福祉
大会の開催をはじめとし
た、障害への理解促進や社
会参加の推進など、多大な
るご尽力をいただきまし
たこと、厚く御礼申し上げ
ます。
さて、本市では、手話言
語の普及とともに、すべて
の障害のある方が、分け隔
てなく情報を利用、取得
し、円滑に意思疎通を行え
るよう、あらゆる障害種別
の方の意思疎通の支援や
手話の位置づけを規定し
た、情報・コミュニケーション
条例の制定を進め
ております。多様な主体が

共有できる条例とするた
め、障害のある方をはじめ
め、関係者の皆様のご意見
を丁寧に向い、取組みを進
めてまいります。
今後、障害のある方も
ない方も誰もが活躍し、共
に支え合う共生社会の実
現を目指し、障害福祉行政
を推進してまいります。
結びに、貴会のますます
のご発展と、会員皆様方
のご健勝、ご多幸を祈念し
て、新年のご挨拶といたし
ます。

令和7年 元旦



新年のご挨拶

千葉市身体障害者福祉会 会長 高山 功一

会員、ご家族の皆様、明けましてお目出とう御座居ます。新しい年の始めをご家族お揃いで迎えられましたお慶びを心からお祝い申し上げます。

また、はからずも体調を崩されている方は、くれぐれもご自愛され一日も早い回復を祈ります。

さて、昨年も福祉会の仲間が各分野で大活躍をされました、永年に渡り仲間の為に我が身の障害を乗り越え頑張られた林四郎理事が日身連福祉大会で会長表彰・石川栄子理事が千葉市社協会長表彰(代表で賞状受領)いずれも団体役員としての功労が認められた。

スポーツでは第23回全国障害者スポーツ大会SAGA二〇二四で一般卓球初出場、尾田陽子選手が銅メダル・今回で三回目出場内田和希選手が陸上、スラロームで銀メ

ダル、ビーンバック投で銅メダルを獲得し笑顔で凱旋されました。

恒例の宮様杯チャリティボーリング品川大会(全国から百名参加)千葉県代表七名の一員として平本広志選手が出場し、2ゲームトータル414ピンで男子、準優勝トロフィーを獲得と活躍した。

他方では役員・会員の高齢化が進み福祉会の活動が困難に直面しています。日身連でも県・政令市が団体維持に悲鳴をあげ何団体かが脱退されました。

千葉市身体障害者福祉会も令和七年一月十九日(日)、第七回新年福祉大会を開催、令和八年三月には解散式を検討しています。「立つ鳥跡を濁さず」で最後まで力を合わせ福祉会の底力の結集に御尽力をお願いし年頭の挨拶とします。

新年おめでとーございます

顧問

三 瓶 輝 枝

会長

高 山 功 一

副会長

小 嶋 勇 明

小 倉 春 夫

平 本 広 志

総務委員長

高 山 功 一

総務委員長

平 本 広 志

財務委員長

小 倉 春 夫

体育委員長

小 嶋 勇 明

旅行委員長

砂 原 時 男

広報委員長

飛 嶋 信 行

〈会計監事〉

佐久間 恒夫

田 丸 桂 子

〈理事〉

石 川 栄 子

木 村 ユミ子

片 岡 山 訓

卯 田 孝 子

永 井 政 枝

宇 山 和 男

高 田 有 利

林 四 郎

宮 武 陽 子

佐 川 京 子

〈評議員〉

熊 野 裕

鈴 木 弘 治

高 橋 春 雄

武 藤 雅 子

田 中 義 雄

片 岡 文 江

荻 原 弘 子

海 老 原 雄 二

野 口 弘 俊

荒 川 信 輝

浅 野 恒 夫

佐 藤 加 代 子

◇ 福祉会関連の行事实績と予定 ◇

あけましておめでとうございます。
会員、家族の皆様、いかがお過ごしでしょうか。良いお年を迎えられましたでしょうか？
新型コロナウイルスも落ち着きを取り戻し、様々な活動やイベントの開催が以前のように実施され、身体障害者福祉会でもコロナウイルスまん延以前の活動を取り戻しております。
今年度も役員一同活発な活動に向けて尽力して行きますので、会員、家族の皆様のご活動への参加、支援を今後ともよろしくお願い申し上げます。

以下、これまでの福祉会関連の行事实績と今後の予定となります。

○11月	11月16日(土)	福祉会月例理事会・・・開催済
	11月24日(日)	宮様ボウリング品川大会・・・開催済
○12月	12月7日(土)	千葉市障害者福祉大会・・・開催済
	12月15日(日)	福祉会年末評議員会・・・開催済
	12月21日(土)	福祉会総務委員会・・・開催済
○1月	1月11日(土)	福祉会月例理事会・・・開催予定
	1月19日(日)	福祉会新年福祉大会・・・開催予定

(広報委員会)



第26回 千葉市障害者福祉大会

福祉大会 開催

第26回「千葉市障害者福祉大会」は令和6年12月7日(土)9時40分から「千葉市ハーモニープラザ」多目的ホールで盛大に開催されました。

オープニングでは大会実行委員町の高梨憲司様の開会宣言、神谷俊一千葉市長の主催者挨拶、石川弘千葉市議会議長のご来賓挨拶に続き、来賓のご紹介がありました。

次に令和6年度の市政功労者受賞者として平岡利政さんが紹介されました。

体験作文・ポスター最優秀者表彰では神谷市長が表彰状と記念品を表彰者の皆様に手渡されました。体験作文の発表では司会の方まで心を揺さぶられるほど暖かな内容に心を打たれました。

続いて、第23回全国障害者スポーツ大会佐賀大会、千葉市代表選手の紹介がされました。

休憩をはさみ、体験・実践発表では、千葉市腎臓疾患患者友の会 吉田道子さんによる「腎臓移植をして今思うこと」と題して自身のこれまでの生き方、今の自分に出来ることについて、周りも元気をもらえるようなお話で体験を発表されました。

続いて、演奏、演技発表ではダウン症を持つ子と親の会 ジュピターによる「手話ダンス」を会場の皆様を巻き込んで会場一体となり、音楽に合わせて手話を実践し盛り上がり

を見せました。

また講演会では、音楽家 秦万里子さんによる「あなたの味方は絶対にいるから」と題して、ユーモアなお話を交えながら、さらに即興の音楽と歌で会場全体が盛り上がりを見せ、終始楽しい雰囲気で行われました。

最後に千葉市ことばを育てる会会長の石田優子さんの閉会宣言で閉会となりました。

また、各11の千葉市障害者団体の紹介の紹介掲示にて、各団体とも活発な活動を十分にアピールされていました。

早朝より準備の関係各位・当会役員の皆様にお礼申し上げます。

(広報委員会)



令和6年度 年末評議員会 開催

令和6年度の年末評議員会は、12月15日(日)10時より、JFEみやぎき倶楽部1階会議室にて開催されました。

今年度は昨年とことなり、懇親会も含めコロナウイルス以前の日程と同様、二部形式で開催がとり行われました。

司会の片岡理事の進行の下、小倉副会長より開会の宣言が行われ、

続いて高山会長より参加役員の皆様に1年間の労苦に対して労いの言葉と、以前より問題として挙がっていた、

役員の高齢化による問題、継続して皆様の頑張りとの協力をお願いしたいとの言葉がありました。

次に議長に砂原理事を指名、挨拶の後、評議員総数30名中、出席者24名、委任状6名で評議員会の成立を報告。

次に、高山会長より令和6年度4～11月の事業報告、小倉財務より同期間での会計報告がされました。

また、その他報告では広報誌「千葉身障」の発行回

数の報告、小嶋体育委員長より、体育祭実施についての所感、砂原旅行委員長より、重度慰安日帰り旅行の報告がされました。

また、当会の逝去者、退会者の報告がされました。最後に小嶋副会長の閉会宣言で年末評議員会第一部は滞りなく終了致しました。

続けて、しばらく実施を見送っていた第二部の懇親会が開催されました。懇親会ではおいしい料理に舌鼓を打ちながら、有志によるカラオケ大会で盛り上がりを見せ、改めて気持ちを一つにして福祉会を盛り上げて行くことを決起しました。

(広報委員会)



～福祉社会会員募集～

福祉社会は発足七十三周年を迎えました。更に発展するように、会員募集中です。
知り合いの方や、お近くで身体障害者手帳をお持ちの方を地区役員に紹介ください。
(組織委員会)

" 困ったときは『福祉まるごとサポートセンター』へ "

令和5年10月に『福祉まるごとサポートセンター』が開設されました。
名前の通り、福祉に関しての困りごとについて対応、相談を聞いてくれる場所となっています。

相談者のお話を聞き困りごとを整理し、必要があれば専門機関との連携を行い、サポートしてくれます。

福祉に関しての困りごとがある方は、是非活用してみてください。
詳細は以下となります。

場 所：千葉ポートサイドタワー 11 階

T e l : 043-306-7130 F A X : 043-306-7320

メールアドレス：fukumaru-sc@city.chiba.lg.jp

受付時間：月～土曜日(祝日、年末年始を除く)／8：30～17：30



(総務委員会)

赤い羽根共同募金



赤い羽根共同募金について



赤い羽根共同募金について、当福祉社会もこちらの助成金の一部を頂き活動させて頂いております。
赤い羽根募金について、皆様にもどのような目的や理由、どのような場所へ利用されているのか、理解して頂き、祖のうえで募金へのご協力を頂ければと思います。

集まった募金は地域福祉活動補助金と呼ばれ助成を受けた施設や団体の活動に利用されています。
掲載されているマークも皆様の身近でよく見ると様々なところで見かけられるかと思います。

ご存じの無い方、知らない方がいらっしゃいましたら、是非広めて頂けると幸いです。

(広報委員会)



あなたの記事、 作品も掲載しませんか？

広報委員会では、会員皆様から掲載記事を募集します。「ぜひ千葉身障に掲載したい」「こんな活動してます！」「みんなに知って貰いたい」「活動メンバー募集します！」等広い範囲で募集します。

又、活動以外でも個人的な作品、例えば手工芸、習字、写真等々、自分の成果をみんなに知ってもらいたい方など、ほぼジャンルは問いませんので、是非掲載してほしい方がいらっしゃったら連絡を下さい。

紙面の都合上、必ず掲載出来るか分かりませんが、「やってみたい！」という方は広報委員会までお問い合わせ下さい。

インターネットでも ご覧になれます

千葉市身体障害者福祉会が発行する本誌「千葉身障」は千葉市のホームページでも閲覧が出来ます。

「千葉市身体障害者福祉会」と検索してもらえると直ぐに閲覧出来ます。是非ご利用下さい。

一・五円玉募金

西口 久美子様(中央区)

毎回の協力に感謝し
お礼を申し上げます。有
難うございました。
(財務委員会)小倉



発行人…特定非営利活動法人
障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区祖師谷3-1-17
ヴェルドウーラ祖師谷102号
編集人…千葉市身体障害者福祉会
千葉市緑区おゆみ野南1-26-14

千葉身障に関するご意
見、ご要望、問い合わせは以
下をお願いします。

Tel & Fax

〇四三ー三七五ー九六九一

高山 功一